

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 48′ 13″		
				経度	137° 28′ 56″		
濁川橋 (フリガナ)ニゴリカワバシ	村道第38号線	長野県木曽郡王滝村					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
長野県 王滝村	2017.11.26	濁川	無	一般道	その他	電話	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	株式会社 長野技研	点検責任者	吉原 潤一
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ 以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅱ	床版ひびわれ	写真22 床版 01			
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	排水装置:土砂詰り	写真37 排水装置0101			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)				措置後に記録	
点検時に記録				(再判定区分)	
(判定区分) Ⅱ	(所見等)	床版にひびわれ、排水装置に土砂詰りが生じている。 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。		(再判定実施年月日)	

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1985年	104m	4.0m

起点側



終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】	その他(排水装置)【判定区分: Ⅱ】
写真 22  床版01 床版ひびわれ・遊離石灰 【判定区分: 】	写真 37  排水装置0101 土砂詰り 【判定区分: 】